

卒業生の声

阿南市役所 水道部工務課 技師 助岡奈緒子さん

助岡さんは阿南高専を卒業後、大学に編入されました。大学卒業後、阿南市市役所に就職されました。

・ 高専に入ろうと思った理由は？

A. 親からの勧めと、テストが少ないし、普通科の高校では出来ない体験が出来、大学みたいだと思ったから。寮での生活は楽しそうで、友達がいっぱい出来そうと思った。

・ やってあげれば良かったと思ったことは？

A. 実習をもっとやってあげればよかった。土質などを理解し、自分が何をしたいかを考えて一生懸命勉強したほうがいい。

・ 得意だった教科は？

A. 構造力学と水理学が得意だった。友達からも不思議がられた。

・ なぜ、大学に進学したのか？

A. 高専までは、親が教師をしていたので、親から離れて勉強してみたかったのが、県外の大学に行った。

・ 大学に進学して大変だったこと、楽しかったことは？

A. 大学生活は楽しかった。一人暮らしで少し怖かったし、自炊で太った。県外に出ることはいい体験になった。大変だったのは、就職が大変だった。やっぱり、高専から就職するのがよいと思う。

・ 就活で気をつけることは？

A. あんまり気にしなかった。化粧は濃くならないようにするべきだと思う。面接の練習をキャリア支援室などでしてもらおうといい。すぐ、就職出来なかった。でも、好きなところに就職出来るように頑張ればいいことがある。

・ 高専の魅力は？

A. 保育士も興味があったが、公園の緑化などにも興味があって高専を選んだ。5年間も学生生活があり、先輩がいっぱいいるので助けてくれる。早い段階から専門の勉強が出来る。外からの情報もいっぱい入ってくるので、色々なことが出来る。中学校に戻ってもやっぱり高専を選ぶと思う。行くなら3年生で大学編入しないで最後まで行った方がいい。5年間は長いが本当の友達ができ、助け合うことが出来る。

・ 高専生へのメッセージは？

A. 今、就職が厳しいが諦めずに！

PRや動機などをちゃんと考えて、今出来る勉強を頑張る。けど、勉強以外のことも楽しむことも大切！

・ 高専での生活は？

A. テスト勉強の時に興味のない授業は授業内容が思い出せなかったりした。相生から来たのに、雪で休講になっていたとき皆で雪合戦をしたこともある。テスト勉強は間違えないように何回も何回もして、書いて書いて…覚えるまでした。

・ 公務員試験については？

A. 半年前から好きなものだけをしていた。上級は難しいので、初級を受けた方がいいかな。大学の講座で勉強していた。

・ 公務員の魅力、大変なことは？

A. 魅力は、毎日使うところを整備したりするので市民の意見や声が聞きやすい。4年目だけど、分からないことだらけで、覚えることが多いなかでもっと吸収して、現場に上司の人に付いてきてもらわずに、一人で行けるようになりたい。大変なのは、やっぱり男性が多く力仕事も多いことかな。